



の結果、月末にまとめて処理しようとするのだが、すでに記憶があいまいで、改めて経路を調べ直したりという余計な手間がかかったりもする。当然、ミスも増え、それがさらなる時間のロスを生む。

**「先送り」はストレスの大きな要因に!**

ただ、こうして失われていくのは貴重な時間だけではない。人間は心のどこかに「先送りしている」というモヤモヤがある。それが気づかぬうちに大きなストレスになるもの。経費精算の溜め込みはメンタルにも大いに悪影響を与えているのだ。管理職となると、そのストレスはさらに倍増する。自らの経費精算のかたわら、部下の承認作業もしなくてはならない。ミスがあれば経理から差し戻されるため、チェックもせずに承認するわけにもいかない。とはいえ、すべてを完璧にこなすことなど時間的にも不可能。経費精算のミスは後を絶たず、今度は経理まで巻き込んでストレスを溜め込んでいく。

まさに「負の連鎖」。しかし、多くの企業ではこれを「仕方のないこと」と諦めてしまっている。光らせる必要がない。さらに、社内の規定に沿わない申請にはエラー表示が出るため、見落としを防止できる。

中でも嬉しいのは、外出先でもスマホでいつでもどこでも承認作業ができるという、クラウドサービスならではの機能だろう。こうした作業はスキマ時間にやってしまうのが時短のコツだ。経理にとつてのメリットも大きい。勘定科目と申請データが自動で紐づけられるため、手作業による仕訳や集計の必要がない。会計ソフトとも連動しており、データをそのまま移し替えることで、面倒な入力作業から解放されるのだ。

まさに「三方よし」のこの仕組み。ストレスフリーな職場づくりの強力な武器になることだろう。

**導入企業が続々と増え続ける理由**

上のグラフにあるように、「楽楽精算」を導入することで、三百人規模の企業の経費精算の時間は年間約二千時間から約四百時間へと、実に約五分の一にまで削減されるという。導入企業はすでに千七百社以上に上り「経費の申請にかかる時間が三分の一になった」五人でやって

**「楽楽精算」の資料請求 無料お試しなどのお問い合わせはこちら。**  
**TEL 03-6675-3623**  
 (平日9:30~18:00)

詳しい内容は[こちら](https://www.rakurakuseisan.jp/)。  
<https://www.rakurakuseisan.jp/>

「THE21を見た」とお伝えいただくとスムーズです

提供: 株式会社ラクス



メンタルダウンの原因の一つとして問題視されている「長時間労働」。だが、個人の努力だけでは改善は難しい。そんな中、見逃されがちな「経費精算」の効率化により、ストレスフリーな仕事を実現するとして注目されているサービスがある。それが「楽楽精算」。時短はもちろん、日々の仕事のストレスからも解放してくれるその秘密とは？

**「残業ゼロ」で「ストレスゼロ!」**

**あなたの仕事を効率化する「秘策」とは?**

**誰もが見過ごしている大きな「ムダ」とは?**

長時間労働がストレスの、そしてメンタルダウンの大きな原因になることは今さら言うまでもないだろう。国も含め、社会全体が長時間労働撲滅に動き始めている。より効率化を進め、短い時間で密度の高い仕事をすれば「新しい働き方」が求められる。だが、多くのビジネスマンの本音は「それができれば世話はない」といったところではないだろうか。業務の効率化は今に始まったことではない。慢性的な人手不足もあり、「これ以上の時間短縮なんて無理!」という人も少なくないはずだ。

だが、そうした会社でもまだまだ見逃されている「ムダ」があることをご存じだろうか。それは「経費精算」である。一日たった数分ほどのロスかもしれない。だが、これが積もり積もってバカにならないものになる。従業員三百人規模の会社が一年間で経費精算業務に費やす時間は、実に約二千時間に及ぶという(左ページ参照)。

しかも、経費精算というのはついつい後回しにしがちだ。そ

の結果、月末にまとめて処理しようとするのだが、すでに記憶があいまいで、改めて経路を調べ直したりという余計な手間がかかったりもする。当然、ミスも増え、それがさらなる時間のロスを生む。

**「先送り」はストレスの大きな要因に!**

ただ、こうして失われていくのは貴重な時間だけではない。人間は心のどこかに「先送りしている」というモヤモヤがある。それが気づかぬうちに大きなストレスになるもの。経費精算の溜め込みはメンタルにも大いに悪影響を与えているのだ。管理職となると、そのストレスはさらに倍増する。自らの経費精算のかたわら、部下の承認作業もしなくてはならない。ミスがあれば経理から差し戻されるため、チェックもせずに承認するわけにもいかない。とはいえ、すべてを完璧にこなすことなど時間的にも不可能。経費精算のミスは後を絶たず、今度は経理まで巻き込んでストレスを溜め込んでいく。

まさに「負の連鎖」。しかし、多くの企業ではこれを「仕方のないこと」と諦めてしまっている。光らせる必要がない。さらに、社内の規定に沿わない申請にはエラー表示が出るため、見落としを防止できる。

中でも嬉しいのは、外出先でもスマホでいつでもどこでも承認作業ができるという、クラウドサービスならではの機能だろう。こうした作業はスキマ時間にやってしまうのが時短のコツだ。経理にとつてのメリットも大きい。勘定科目と申請データが自動で紐づけられるため、手作業による仕訳や集計の必要がない。会計ソフトとも連動しており、データをそのまま移し替えることで、面倒な入力作業から解放されるのだ。

まさに「三方よし」のこの仕組み。ストレスフリーな職場づくりの強力な武器になることだろう。

**導入企業が続々と増え続ける理由**

上のグラフにあるように、「楽楽精算」を導入することで、三百人規模の企業の経費精算の時間は年間約二千時間から約四百時間へと、実に約五分の一にまで削減されるという。導入企業はすでに千七百社以上に上り「経費の申請にかかる時間が三分の一になった」五人でやって

るのが現状だ。

実は、そうした問題を一挙に解決する手段がある。経費精算業務をIT化するという方法だ。中でも経費精算システムを導入する企業は今増えており、クラウド型経費精算システムにおいて累計導入社数ナンバーワンのラクスの「楽楽精算」である。「楽楽精算」を導入すると、日々の経費精算のやり方は一変する。たとえば、交通系ICカードを専用のリーダーにかざすことで、その日のルートとかかった交通費が瞬時に画面に表示され、そのまま経費精算データとして提出することが可能。これなら精算の後回しも自然となくなるだろう。ICカードを使わない場合でも、乗換案内ソフトが内蔵されているため、運賃をいちいち調べ直す手間が省ける。また、法人クレジットカードとの連携も可能で、利用明細をそのまま申請に使える機能もある。

申請者のストレスが減るのはもちろん、上司の承認の手間も大いに短縮される。たとえば交通費の場合、そのルートが最短か、あるいは最も安いルートかといったことがアイコンで表示されるので、細かいミスに目を